

資本政策の考え方

○上場企業として持続的成長と企業価値向上を目指すべく、ROE2桁台を目指す！
・当面は、売上高利益率の改善、自己資本比率の改善、を重点課題/指標として運営

中長期的な目標

- 資本効率（自己資本利益率：ROE）の維持・改善と、資本コストの抑制を通じて、持続的成長と企業価値向上を目指す
- ・ ROE目標：自社の資本コスト水準と一般的な投資家の期待水準に基づき、8%以上を維持しつつ、10%以上を目指す
 - ・ 当面は、下記の①売上高利益率の改善、③自己資本比率の改善、を重点課題/指標として運営
 - ー現状は、新型コロナによる赤字で自己資本を棄損した事で財務レバレッジが高まり、結果としてROEを押し上げ
 - ⇒健全な財務基盤を再構築しつつ、資本効率を維持・改善する事を目指す

ROEの維持・改善：↑（8%以上を維持、10%以上を目指す） （ROE（利益/自己資本）＝ ①売上高利益率 × ②資産効率 × ③財務レバレッジ）		
①売上高利益率の改善	利益/売上高：↑	・ 受注を獲得、工場の稼働を向上させ、つくば3期投資等で上昇した固定費を打ち返す ・ 原材料費、人件費、光熱費、諸経費等のコスト上昇を、単価への反映で打ち返す
②資産効率の改善	売上高/資産：↑	・ 工場の稼働を向上させ、全社として資産効率を向上させる ・ 採用が困難な環境下、省力化投資を推進する
③自己資本比率の改善 （財務レバレッジ抑制）	自己資本/資産：↑	・ 新型コロナによる業績悪化で毀損した自己資本を回復させ、財務安定性を回復させる ・ 財務レバレッジ抑制はROE改善にはマイナスだが、売上高利益率と資産効率の改善で打ち返す

資本コストの抑制：↓	
資本コストの抑制	・ 強み分野を中心に受注を着実に獲得し、業績の安定を図る ・ 決算説明会やホームページの情報開示資料の高度化等、IRの強化を推進する - ー個人投資家の方々を対象とした会社説明会を2024年より開始